

春を先どり！出荷量日本一、新潟のチューリップが楽しめるイベント 「にいがたチューリップマルシェ2018」を表参道・新潟館ネスパスで開催 全長約200mの「チューリップロード」も出現

チューリップは新潟県の「県の花」、切り花出荷量は全国1位（年間約9億円）を誇ります。春の本格的なシーズンに先駆け、産地直送のチューリップが楽しめる各種イベントを、1月から2月にかけて表参道・新潟館ネスパスで開催します。

約200mに約4,000本のチューリップを並べた「チューリップロード」、お馴染みの品種から珍しい品種まで50種類以上のチューリップが一度に楽しめる「にいがたチューリップマルシェ2018」、新潟県オリジナル品種などを展示・販売する「新潟発チューリップイノベーション」など、一足早い春をお届けします。

各イベント詳細

■ にいがたチューリップマルシェ2018

日 時：1月26日（金）～28日（日）
10時30分～18時
※初日は13時から、最終日は16時まで

場 所：表参道・新潟館ネスパス

内 容：

日頃見かけることのない珍しいチューリップや、お部屋でも育てられる花芽付き球根（ポット苗）など、50種類以上のチューリップの展示・販売

主 催：にいがた園芸農産物宣伝会

※1月22日（月）正午頃～29日（月）まで、ネスパス正面の表参道約200mに、「チューリップロード」として約4,000本のチューリップを設置します。



■ 新潟発チューリップイノベーション

日 時：2月17日（土）～18日（日）
10時30分～18時 ※最終日は16時まで

場 所：表参道・新潟館ネスパス

内 容：

進化する新潟のチューリップ切り花をさまざまな形で提案

- フラワーデザイナーによるアレンジの作成展示、ミニワークショップ
- 新潟県オリジナル品種や、香りチューリップなどの展示・販売
- 特製グッズ（チューリップ・スタイルブック、カード等）プレゼント など

主 催：新潟県花き振興協議会、新潟県新潟地域振興局



会場

表参道・新潟館ネスペース

渋谷区神宮前4-11-7（表参道ヒルズとなり）

表参道から“食”を中心とした新潟県産品の販売・イベント、観光情報、Uターン就職情報の提供により“にいがた”の新鮮情報を発信するアンテナショップです。

●WEBサイト

<http://www.nico.or.jp/nospace/>



(参考) 新潟県のチューリップとは…

チューリップは新潟県の「県の花」で、切り花生産量が全国1位（H26年 約9億円／年、2位は埼玉県で約5億円／年）を誇ります。

またチューリップは、明治後期の長岡市（旧三島郡越路町）で栽培が試みられ、新潟市（旧中蒲原郡小合村）で、日本で初めて球根の商業生産が本格化したとされています。

現在では、約300品種を出荷、新潟県オリジナル品種（15品種が品種登録）も生産しています。特に新潟市では国内の約3分の1の切り花が出荷されています。

新潟県では、チューリップにもっと多くの方から親んでもらうため、平成26年度から「にいがた チューリップいっぱいプロジェクト」に取り組んでおり、これまで、結婚式や披露宴でチューリップを使ってもらう「チューリップウェディング」やバレンタインにチューリップを贈る「チューリップバレンタイン」などを提案しています。



新潟県オリジナル品種
「恋心」



その他主なイベント

・2月8日-9日 チューリップバレンタイン～胎内市から愛をこめて

新潟県胎内市産のチューリップや、胎内高原ワイン、米粉スイーツなど胎内市がおすすめするバレンタインアイテムが勢揃い。（主催：胎内市・胎内市観光協会）